



3学期がスタートしました！ 平成29年1月10日(火)

3学期始業式

始業式では、校長先生ご自身が年末年始、恒例にされていることを紹介されました。「元旦の全国紙を読み比べる」ことがその中の一つで、各紙の今年の展望がみな同じ内容であったことに驚かれたそうです。

混沌とした世界情勢を憂い、反グローバリズムに警鐘を鳴らす内容から、「学び続ける」ことの大切さを再確認され、本校の今年度のキャッチフレーズ「夢への挑戦は学びの継続から」に立ち返ろうというお話でした。

教務部、進路指導部の先生からも「初志貫徹」「石の上にも三年」と継続することの大切さについて話がありました。また生徒指導部の先生からは、授業を大切にすることは自分自身だけでなく保護者の想いも大切にすることになるという話をいただきました。

表彰式では、文書デザイン検定とプレゼンテーション作成検定の合格者の表彰を行いました。



PTAあいさつ運動

3名のPTA役員の方にあいさつ運動に参加していただきました。寒い朝でしたが、元気に登校してくる生徒のみなさんの爽やかなあいさつから、今年1年のやる気を感じることが出来ました。

クリーンアップ

始業式の前に、全校生徒で大掃除を行いました。教室等の校舎内はもちろん、正門付近や学校周辺を時間をかけて清掃しました。2学期終業式の際は、雨のため外の掃除ができませんでしたが、今回は外の掃除も丁寧に行うことができました。清々しい気持ちで新学期のスタートを迎えることができました。

課題テスト

始業式の後は、冬休みの課題を基にした課題テストを実施しました。冬休みの学習の成果を発揮することができたでしょうか。テストが返却されたら丁寧に直しをして、苦手分野を補っておきましょう。

「夢への挑戦は学びの継続から」

百人一首カルタ大会 平成29年1月18日(水)

38回目の開催となった黒瀬高校伝統行事、百人一首カルタ大会を行いました。各クラスが3~4つのチームに分かれての、学年別のクラス対抗戦です。それぞれのチームから前半5人、後半5人を出して対戦し、クラス全体での取札の総計で順位を決定します。

冬休み前の国語の授業で百人一首について学び、歌の意味を理解しました。そのうえで気に入った歌を中心に冬休み中に暗記し、この日に臨みました。読み手が上の句を読み上げている間に取札を取って歓声や拍手が上がったり、下の句を読み終わってもなかなか見つからなかったり、取ったと思ったら他の人に手の甲を叩かれてしまったり、似ている札をお手付きしてしまったり…。気温の低い日でしたが、真剣な表情で競技する生徒たちの熱気が、寒さを吹き飛ばしてくれました。日本古来から親しまれている伝統文化に触れ、感性を培い、教養が深まった一日でした。



5人1組で対戦します



取り札に集中！

生徒のみなさんの一番人気の句！？

ちはやふる 神代もきかず 龍田川 からくれなゐに 水くるとは

各学年の優勝クラス

1年3組



2年3組



3年1組



冬期補習 平成29年1月5日(木) 6日(金) センター試験壮行式 平成29年1月12日(木)

3学期が始まる前に補習を実施しました。

1, 2年生は国・数・英の3教科の基本を中心に授業を受け、3学期のスタートに向けて学習を行いました。1年生の普通科では多くの生徒が1教科以上受講し、3学期に向け、そして2年生に向け、意識を高めることができました。

次の学年に向け、自分の進路に向け、補習などを活用して意欲的に学習に取り組む生徒が多くみられます。3学期も放課後補習を行いますので、積極的に参加していきましょう。

3年生は同じ日程で、直前に迫ったセンター試験に向けてプレテストを行いました。テスト後は自己採点を行い、本番に向けて周回準備をしました。

全国で57万人余りが受験するセンター試験。本校からは26名の生徒が挑戦しました。近年の本校では最大の数字です。すでに推薦入試やAO試験などで国公立大学をはじめ、多くの大学へ合格者を多数出している3年生は4月からの大学生活を視野に入れて試験に臨みました。センター試験当日は大雪による積雪で試験会場までの移動が大変でしたが、無事に受験を終えることが出来ました。翌週の月曜は自己採点を行い、各々の試験の結果について確認をしました。



校長先生からの激励



生徒代表挨拶



3年生 学年末考査

平成29年1月27日(金)~2月1日(水)

3年生にとっては、高校生活最後の定期考査です。これまで地道に努力を続けてきた人は、最後まで気を抜かず取り組むことができたでしょうか。また、これまでの学習に後悔を感じている人は、これまでに最も頑張った勉強したといえる結果で有終の美を飾ることができたでしょうか。高校時代に身につけるべきことをしっかりと身につけて卒業してください。

福祉科より

★3年生 外部講師の講義★

平成28年 12月12日(月)・13日(火)

2日間、古江一子先生にお越しいただき、1日目には「認知症高齢者の介護の実際」、2日目には「精神に障害のある人々の介護の実際」についてお話いただきました。



認知症高齢者の介護についての講義の様子

【生徒の感想】

講義の中で、先生の実験を取り上げてお話していただき、イメージしながら聞くことができました。認知症高齢者の介護のお話では、やはり相手の方に対して否定をせず、受容と共感の姿勢が大切だと改めて感じました。認知症になったとしても、五感と感情は保たれているという言葉が印象的でした。今日学んだことを今後の生活に生かしていきたいです。(3年3組 長尾 宇起)



会場準備を行う様子



参加者と楽しく踊る様子



★2年生 介護実習報告会★ 平成28年 12月19日(月)

2年生が介護実習の報告会を行いました。総合福祉類型の生徒の報告の中には、レクリエーションや移乗動作などを実際に実演しているグループもありました。介護福祉士類型の生徒は、担当利用者の方の情報収集をし、利用者のニーズについて考え、まとめを発表しました。

各グループともパワーポイントを用いて、分かりやすくした発表を行っていました。



司会を担当する3年生



参加者とコミュニケーションを図る様子



レクリエーション実演の様子



介護福祉士類型の生徒の発表の様子

【生徒の感想】

今回2年生の介護実習報告会を聞いて、発表の中でまだ習っていない専門用語が出てきましたが、先輩方が分かりやすく説明してくださり勉強になりました。また、実際に施設で行われたレクリエーションを先生方や私たちを巻き込んで実施されました。レクリエーションにおいても様々な工夫ができることを知りました。2年生は、学んだことをこれからどう生かしていくのかということも発表していました。私たちも来年先輩方のような報告ができるよう頑張ります。(1年3組 川崎 葵)

今回の介護実習報告会を通して、1年生の時より報告の内容が深まっていて、1人1人が成長したなと感じました。私は今回で実習報告会は最後ですが、今日のように1・3年生と先生方の前で報告をすることができ良かったです。今後は保育実習などがあり、高齢者と児童では関わり方などが違うと思いますがこれまでの実習で学んだことを生かしていきたいです。(2年3組 コリン レイエス)

介護実習報告会の中で「タクティール・タッチ」という言葉が出てきました。これは「肌と肌を触れあわせる」というコミュニケーション方法で、スウェーデンから生まれたものです。認知症高齢者のケアで、それを行うことによりその方のストレスや緊張感がほぐれたり、安眠効果にもつながると聞きました。これからのケアで大切にできると感じました。この報告会で私自身も学ぶことができました。(3年3組 松岡 菜々)

★1・2年生 地域交流会★ 平成29年 1月6日(金)

地域の乃美尾老人会の方11名の方にお越しいただき、1年生は昔の遊びを通して地域の方と交流を図りました。2年生はぜんざいを作りました。おやつ交流会では、地域の方から、昔の話や黒瀬町のお話など色々教えていただきました。

＜老人会の方からこのような感想をいただきました＞

- ・初めて参加したが、一緒になって遊ぶことができ楽しかった。
- ・先生と生徒の間が明るくて和やかだった。
- ・若い力をもらうことができた。



おやつ交流会の様子

地域交流会では、老人会の方々と昔の遊びを一緒に行ったり、おやつを食べながら一緒にお話しさせていただきました。お話をすることで、同じ地域に住んでおられるという共通点があり沢山話を行いました。こうして地域の方と交流を図ることで昔の話を聞け、コミュニケーション能力も身に付くのでこのような機会を大切にしたいです。(1年3組 大前 桃花)

おやつ交流会では、私たち2年生が手作りしたぜんざいを召し上がっていただきました。地域の方のお話の中で、戦争時代のお話を聞くことができました。小学校の頃、戦争に行く人の手伝いで稲刈りをしたりしていたという話を伺いました。今の生活が当たり前ではない事を知ることができました。(2年3組 多田 海羽)

★3年生 黒瀬高校・広島国際大学連携教育プログラム★

平成28年12月15日(木)

3年生の生徒26名が広島国際大学保健医療学部医療技術学科の見学学習を行いました。臨床検査学・臨床工学の各専攻では学部の説明や医療機器の役割などを聞き、採血も体験させていただきました。また、救急救命学の学生の救急実習を見学させていただきました。



採血の体験の様子

臨床検査学と臨床工学の見学では、実際に人形を使って採血と電気メスの体験をさせていただきました。また、救急救命学では実際に救急車やストレッチャーを使用している授業が行われていました。救命救急は人の命を預かる仕事なので、とても緊張感が伝わってきました。今回の見学・体験授業を通して、他にも様々な分野の仕事内容や役割について興味を持つきっかけになりました。

(3年3組 古川 真喜)

★第10回黒瀬町障害児(者)クリスマス交流会★ 平成28年12月17日(土)

福祉科の全学年から有志16名が参加しました。今回は、黒瀬町にある「生活介護事業所黒瀬ありんこ」でクリスマス交流会が行われました。生徒が手作りした鈴の入った楽器を参加者の方々にプレゼントし、楽器を鳴らしながら一緒に歌をうたったり、踊りをおどりました。参加者の方と積極的に交流を図りました。

【生徒の感想】

今回のボランティアでは、参加者の方々と楽器を作ったり歌をうたい踊ったりしました。楽器を作っている際、参加者の方が積極的に話しかけて下さり様々なコミュニケーションをとることができました。今回のボランティアはとても貴重な1日となりました。(1年3組 賀谷 菜々子)

今回のクリスマス交流会では、合唱のリーダーを務めました。とても緊張していましたが、参加者の方々がとても温かく受け入れてくださったので、おちついて司会を行えました。飾り付けなどもすべて最後まで皆で協力し、やり切ることができ良かったです。(2年3組 川口 美奈)

クリスマス交流会本番まであまり練習する時間はありませんでしたが、リーダーを中心に皆が主体的に動き、臨機応変に対応し本番ではリハーサル以上に良いものとなりました。何よりも参加者の方が楽しんでいる姿を見ることができ、とても嬉しく思いました。(3年3組 松本 美瑞穂)